

製品名: EphB4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80657**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	108kDa

抗原情報

遺伝子名	EphB4
別名	HTK; MYK1; TYRO11
遺伝子 ID	2050.0
SwissProt ID	P54760
免疫原	大腸菌で発現した EphB4 (aa562-612) の精製された組み換え断片。

背景

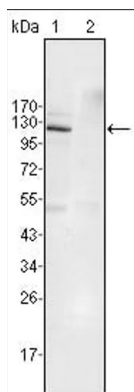
EphB4: EPH 受容体 B4。エフリン受容体とそのリガンドであるエフリンは、特に神経系において、多くの発達過程を媒介します。エフリンは、その構造と配列関係に基づき、グリコシルホスファチジルイノシトール結合によって膜に固定されるエフリン A (EFNA)

クラスと、膜貫通タンパク質であるエフリン B (EFNB) クラスに分類されます。Eph ファミリーの受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて 2 つのグループに分けられます。エフリン受容体は、受容体チロシンキナーゼ (RTK) ファミリーの最大のサブグループを構成します。この遺伝子によってコードされるタンパク質はエフリン B2 に結合し、血管の発達において重要な役割を果たします。

研究分野

-

画像データ



Jurkat (1) および HEK293 (2) 細胞溶解物に対する EphB4 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。